

令和8年度 第1学年 国語科 年間指導計画・評価計画

月	時数	単元	観点別学習状況の評価の観点			ICTの活用
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	6	<ul style="list-style-type: none"> 朝のリレー 野原はうたう 学びをひらく <ul style="list-style-type: none"> はじまりの風 	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア →声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ →図などを使って、心情の変化を整理している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 (C(1)イ) →場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている	タブレット端末 提示用デジタル教科書
5	11	<ul style="list-style-type: none"> 情報を聞き取り、要点を伝える 漢字の組み立てと部首 話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする 新しい視点で <ul style="list-style-type: none"> ダイコンは大きな根? ちょっと立ち止まって 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ →5W1H に注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア →声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) →日常の話題について、聞き取った情報を整理し、伝える内容を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ)	聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	タブレット端末 提示用デジタル教科書

		<p>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>(1)イ</p> <p>→漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>→本文中で比較がどのように使われているかを理解している。</p> <p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>→筆者の主張と事例との関係を整理している。</p>	<p>→聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。</p> <p>「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>→「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。</p> <p>「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>→序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。</p>	<p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。</p> <p>進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p>	
--	--	--	--	---	--

6	16	<ul style="list-style-type: none"> ・情報整理のレッスン 比較・分類 ・情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く ・指示する語句と接続する語句 言葉に立ち止まる ・空の詩 三編 ・詩の創作教室 	<p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>→情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)</p> <p>→集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。</p> <p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</p> <p>→詩の中の語句の意味を捉えながら、</p> <p style="padding-left: 2em;">語感を磨き、語彙を豊かにしている。</p> <p>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ)</p> <p>→表現の技法を理解し、表現を工夫し</p>	<p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>→目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明に必要な情報を取捨選択している。</p> <p>・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>→わかりやすく説明するために、まとめ方や順序を工夫している。</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)</p> <p>→詩に描かれている情景を想像し、具体的な叙述を取り上げて表現の効果を考えている。</p> <p>・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>→自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。</p> <p>・「書くこと」において、根拠の明確</p>	<p>情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。</p> <p>集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。</p> <p>詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

			て詩を書いている。	さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) →読み手の助言から、創作した詩のよい点や改善点を理解している。		
7	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喻で広がる言葉の世界 ・ 語彙を豊かに ・ 情報収集の達人になろう ・ 読書を楽しむ 	<p>比喻などの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) →文中で使われている比喻の文脈上の意味を理解している。</p> <p>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) →言葉を集め、似た意味の言葉の語感の違いに注意しながら、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。</p> <p>・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア) →考えを述べる際に、その考えを支える理由や事例が必要なことを理解している。</p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の</p>	<p>「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) →各段落の役割を理解し、文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉えている。</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。</p>	<p>進んで比喻について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。</p> <p>引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

			示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ →本やインターネットで調べた情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方を理解している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) →読み取った情報を基に、自分の考えを書いている。		
7	2	読書生活を豊かに ・読書を楽しむ ・本の中の中学生				タブレット端末 提示用デジタル教科書
9	16	心の動き ・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに ・聞き上手になろう（質問で話を引き出す） ・項目を立てて書こう（案内文を書く） ・読み手の立場に立つ ・方言と共通語 ・漢字の音訓	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ →戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解するうえで、読書が役立つことを理解している。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ →場面や描写の結び付きを、図などを用いて整理・比較している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 (C(1)イ) →描写に着目して、登場人物の行動の理由や心情の変化を捉えている。 「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ) →場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。	登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。 進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	タブレット端末 提示用デジタル教科書
10	17	筋道を立てて ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・根拠を示して説明しよう ・[話し合い]話し合いの展	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア →筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) →文章の構成や展開の効果について、	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	タブレット端末 提示用デジタル教科書

		開を捉える ・意見と根拠 ・聴きひたる 大阿蘇 ・言葉の関係を考えよう	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア) →適切な根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。	根拠となる段落や部分を挙げて考えを書いている。	根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関係について理解を深めようとしている。	
11	7	いにしへの心にふれる ・音読を楽しもう いろは歌 ・蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から ・今に生きる言葉	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ) →小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) →言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) →音読に必要な文語のきまりや、古典特有のリズムを確かめながら音読し、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っている。(C(1)オ) →文章を読み、登場人物の思いや行動、現代との共通点や相違点について考えを深めている。	古文を積極的に、繰り返し音読し、3年間の学習の見通しをもって、古典の世界に親しもうとしている。 進んで古文を音読し、今までの学習を生かして、描かれている古典の世界を想像しようとしている。	タブレット端末 提示用デジタル教科書
12	9	価値を見いだす ・「不便」の価値を見つめ直	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解してい	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内	必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考え	

		<p>す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果 ・進め方について考えよう ・話題や展開を考えて話し合おう 	<p>る。(2)ア)</p> <p>→自分の意見を述べるときには、根拠が必要であることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) <p>→情報の整理のしかたを理解し、必要な情報を選び、結び付けて、本文を要約している。</p> <p>原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>→原因と結果がどうつながっているか整理し、その関係について理解している。</p>	<p>容を解釈している。(C(1)ウ)</p> <p>→目的に応じて必要な情報に着目し、要約している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) <p>→文章を読んで理解したことに基づいて、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) <p>→立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見を書いている。</p>	<p>を文章にまとめようとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。</p>	
12	1	<p>いつも本はそばに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の現場によろこそ ・四百年のスローライフ ・はやぶさ2 最強ミッションの真実 	<p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)</p> <p>→読書の意義(読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと)を理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)</p> <p>→作品を読んで得た疑問や感想を、グループで伝え合う活動を通して、自分の考えを確かなものになっている。</p>	<p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>タブレット端末 提示用デジタル教科書</p>

1 ～ 3	27 自分を見つめる ・少年の日の思い出 ・二十歳になった日 ・構成や描写を工夫して書こう（体験を基に随筆を書こう） ・単語の性質を見つけよう ・漢字の成り立ち ・漢字に親しもう ・一年間の学びを振り返ろう ・文の組み立て ・言葉の単位				タブレット端末 提示用デジタル教科書
評価の方法		ワークシート、休み明け小テスト、定期考査	ワークシート、定期考査	振り返りシート、ワークシート	